

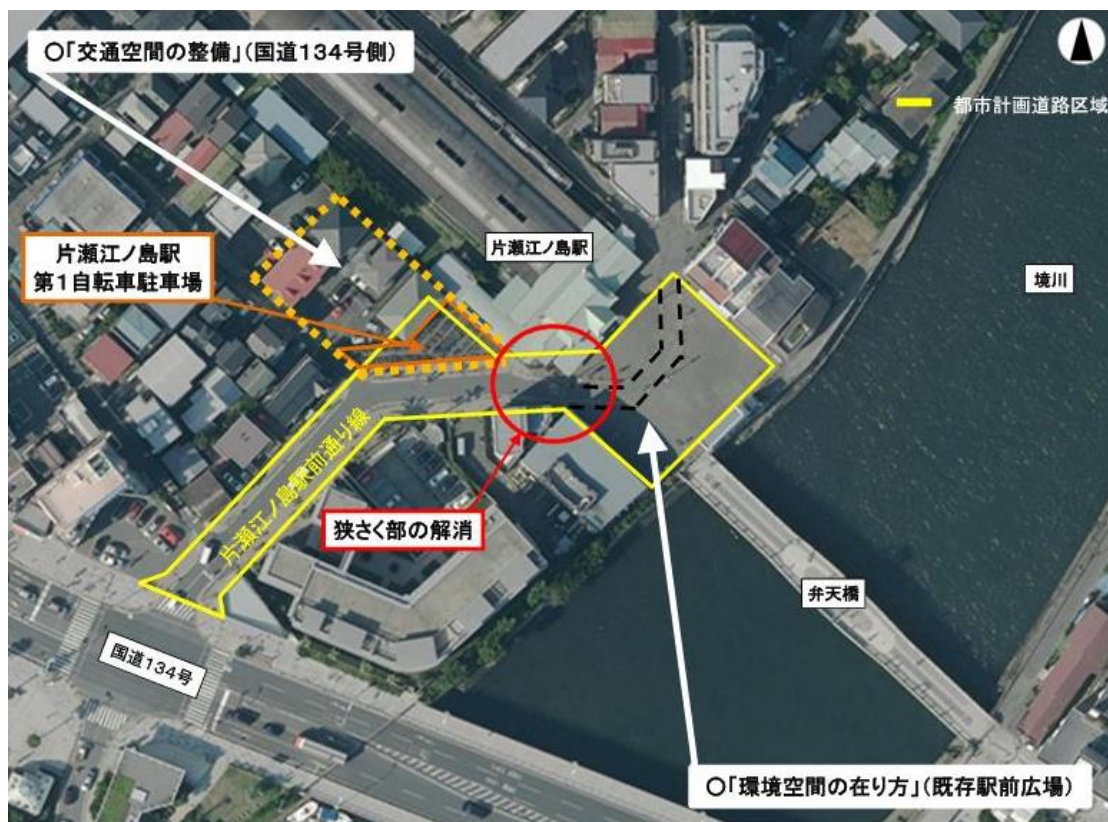
片瀬江ノ島駅駅前広場の整備について

片瀬江ノ島駅駅前広場については、平成30年9月の藤沢市議会定例会において、同駅周辺を片瀬・江の島の玄関口としてふさわしい駅前広場とするため、新たに交通空間として車両の乗降場を整備するとともに、環境空間の既存駅前広場は、来訪者を迎える空間や地域の人々が憩い集える空間として、歩行者の安全を最優先に考え車道廃止とする整備を行うこととし、東京2020大会までの暫定整備計画と将来計画について報告してきました。

その後、平成31年2月の藤沢市議会定例会において、誰もが憩い集える環境空間として整備するにあたり、車道廃止した場合は、地域住民の生活にとって周辺道路の安全対策や利便性の低下などの理由から地域の賛同を得ることが難しい状況となったため、車道を残すこととして暫定整備の計画変更を報告しました。

今回は、その東京2020大会に向けての暫定整備について、大会までのスケジュールを含めた整備内容を報告するものです。

【位置図】



1. 東京2020大会に向けた整備内容について

(1) 交通空間の整備

①道路改良（ロータリーの整備）

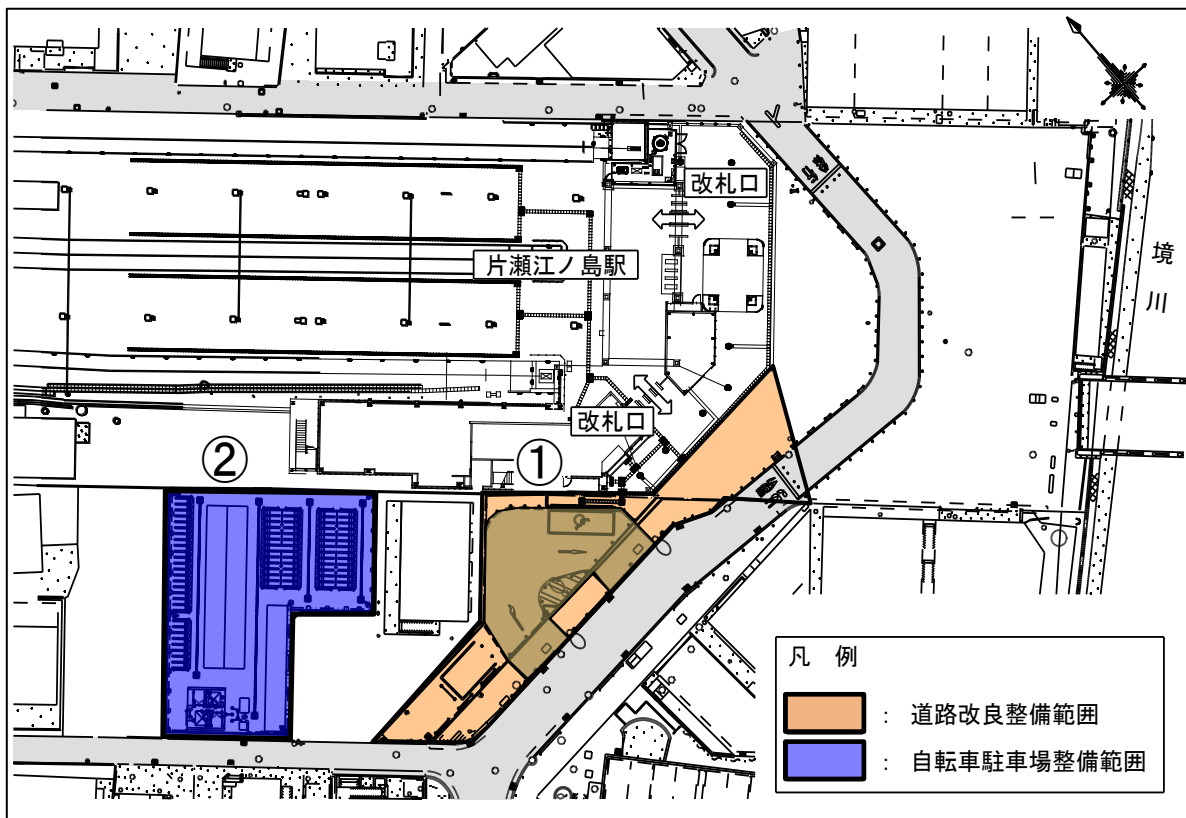
道路改良については、片瀬・江の島の玄関口として利用されている片瀬江ノ島駅の交通結節機能の強化として、福祉車両や一般車両の送迎などの接車場所を設置するとともに、国内外からの観光客を円滑・安全に誘導するため、周辺の観光案内サインと整合を図りながら矢羽式サインと防犯カメラの設置を行います。

また、東京2020大会時においては、競技会場である江の島に一番近い最寄り駅の小田急線片瀬江ノ島駅から、誰もが円滑に移動できる交通手段として、ユニバーサルデザインタクシーや福祉車両などの発着場とするロータリーの利用を予定します。

②自転車駐車場

自転車駐車場（以下「駐輪場」という。）については、取得した用地を活用し約300台の駐輪場を再整備します。なお、駐輪場の有料化と併せて周辺を放置自転車禁止区域に指定します。

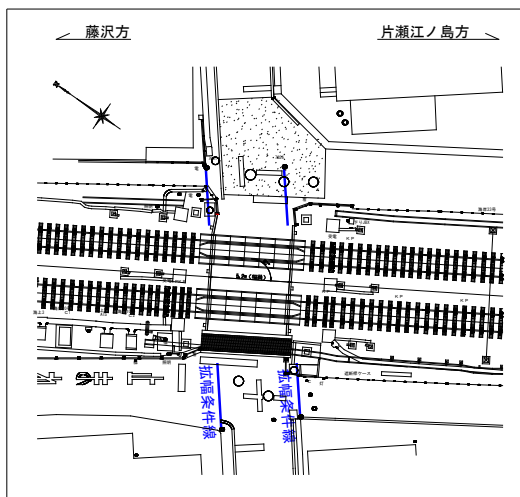
【交通空間の整備】



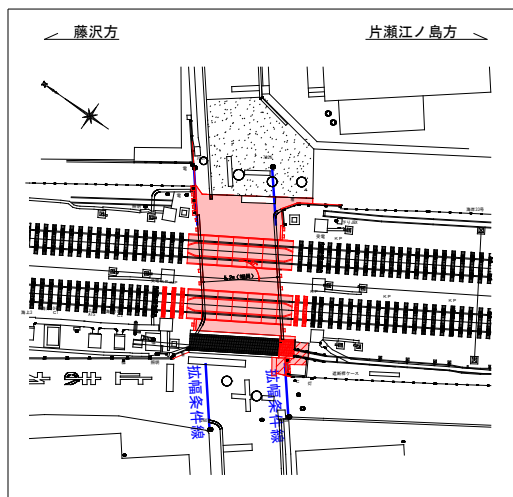
(2) 踏切改良

片瀬西浜橋通り線にある小田急江ノ島線の鶴沼海岸10号踏切の改良については、道路と踏切にずれが生じていることから、交通量の増加が見込まれる東京2020大会までに踏切改良の本体工事完了を目指し、取組を進めます。

【現況】



【計画】



2. スケジュールについて

交通空間の整備と鶴沼海岸10号踏切の改良については、東京2020大会前の令和2年6月の完成を目指します。

また、東京2020大会後については、片瀬・江の島の玄関口にふさわしい駅前広場として、駅利用者や来訪者をはじめとする地域の人々が憩い集える環境空間を目指し、既存駅前広場の安全性や車道の在り方等、地域住民と意見交換などを行いながら将来計画の整備の考え方をまとめていきます。

【スケジュール】

項目		令和元年度		令和2年度以降	
		10月	1月	4月	7月
事業内容	駅前広場等	交通空間の整備 設計等 (①道路改良②駐輪場)		東京2020大会	将来計画に向けた取組
	踏切改良	準備等	踏切改良の工事		
(参考) 小田急電鉄(株)		駅舎建設等			

※1 踏切改良の本体工事は東京2020大会までに完了予定

以上
(事務担当 計画建築部 江の島地区周辺整備担当)